明治政府の成立

新政府国家の三大改革

新政府は、薩長など雄藩の出身者で固め、
天皇を頂点とする「中央集権国家づくり」を行うため、
いろいろな改革を実行します。

これを **明治維新** と呼びます。

① 大政奉還がおこなわれ、王政復古の大号令が宣言され、
戊辰戦争のさなか、

1868年3月、明治政府は新政府の方針として、
五箇条の御誓文 を発表した。

一、広ク会議ヲ興シ、万機公論ニ決スヘシ、
（広く会議を開き、政治は全ての人々の意見で決定すべき）

一、上下心ヲ一ニシテ盛ニ経綸ヲ行フヘシ
（身分の上の者も下の者も心を一つにして国を治めていこう）

一、智識ヲ世界ニ求メ大ニ皇基ヲ振起スヘシ
（知識を外国から取り入れて天皇統治の基礎をおこすべきである）

⋮

など

聖徳太子の十七条の憲法と似ている

これは天皇が神に対して誓うという形で出されました。